

☎まず、かかりつけ医・もの忘れ相談医へ相談。

【もの忘れ相談医】

(幸手市・久喜市・白岡市の市外局番 0480)

病院名	住所	電話
石塚医院	北3-10-20	43-7777
いわさきハートクリニック	南3-12-7	44-3810
牛村病院	中5-4-51	42-0025
久我クリニック	中5-9-17	40-3105
高梨クリニック	下川崎33-1	43-5522
のぐち内科呼吸器内科クリニック	南2-4-9	42-0123
東医院	中3-8-10	42-0409
東埼玉総合病院	吉野517-5	40-1311
堀中病院	東3-1-5	42-2081
むさしのメディカルクリニック	幸手2807	40-6001

【認知症相談医】 事前に電話相談し紹介状・予約の確認を。

病院名	住所	電話
東武丸山病院	南2-2-13	42-0710
東埼玉総合病院	吉野517-5	40-1311
堀中病院	東3-1-5	42-2081
むさしのメディカルクリニック	幸手2807	40-6001
久喜すずのき病院	久喜市北青柳1366-1	23-6848
新久喜総合病院 (水曜日午後のみ)	久喜市上早見418-1	44-8240
堀中脳神経外科クリニック	久喜市東大輪507-1	59-6661
新しらおか病院	白岡市上野田1267-1	90-5550

【認知症疾患医療センター】 事前に電話相談し紹介状・予約の確認を。

病院名	住所	電話
久喜すずのき病院	久喜市北青柳1366-1	専用ダイヤル
月～土(祝日除く)9:30～17:30		23-3300
武里病院	春日部市下大増新田9-3	フリーダイヤル
月～土9:00～12:00、 13:00～17:00		0120-8343-56

☎認知症ケア相談室:「認知症の介護技術・方法についてアドバイスする窓口」です。認知症の介護技術や方法について相談を承ります。

施設名	住所・電話(市外局番 0480)
あすなるホーム幸手	南3-23-30 ☎40-3262
ソレアド幸手	幸手3799-8 ☎40-3911
グループホーム フローラ幸手	東4-9-15 ☎40-5526
グループホームつどい小島家	東1-14-6 ☎44-2855
グループホームつどい幸手小島家	東1-8-32 ☎43-8080
小規模多機能型居宅介護事業所 さくら	平須賀2-225-2 ☎47-1205
幸手東地域包括支援センター	天神島1030-1 ☎53-6151
幸手西地域包括支援センター	香日向4-5-1 ☎40-3443

☎支援機関一覧 電話(市外局番 0480)

幸手市介護福祉課 ☎42-8438

<介護予防・悪化予防>

- 脳健康教室 ○あたまの健康チェック
- 高齢者健康体操自主グループ ○脳トレOB会 ○介護保険サービス

<安否確認・見守り>

- 緊急時連絡システム ○つながり安心ネットワーク
- 幸手市高齢者・障害者地域見守り支援ネットワーク

<家族支援>

- おれんじカフェ ○紙おむつ支給

幸手市社会福祉協議会 ☎43-3277

<つながりの支援>

- ふれあい・いきいきサロン

<安否確認・見守り>

- 傾聴ボランティア・ピース ○ふれあい電話の会 ○安心カード配付

<生活支援>

- 有償家事援助サービス事業 桜ふれあいサービス ○配食サービス

<権利擁護>

- あんしんサポートねっと

幸手市老人福祉センター ☎47-1126

<つながりの支援>

- 老人クラブ

幸手市シルバー人材センター ☎44-0774

<生活支援>

コミュニケーション喫茶「元気スタンドぷリズム」(事務局) ☎48-7372

<生活支援>

- 幸せ手伝い隊(栄商店会協同組合)

☎地域まるごと何でも相談窓口:医療機関、福祉・介護のサービス等の関係機関と、連携・調整し、どんな相談も一緒に考えます。

北葛北部医師会 地域ケア拠点「菜のはな」

☎40-1311(代表:東埼玉総合病院内) ☎電話080-9685-3378

受付時間:月～金曜日 9:00～17:00 ※土日祝日・年末年始を除く

☎地域包括支援センター

「高齢者のための総合相談支援窓口」です。

介護に関する相談はもちろん、健康、福祉に関することなど。ご相談は、お住まいの対象区域の地域包括支援センターをご利用ください。

幸手東地域包括支援センター

☎ 53-6151 ☎ 53-6160

・対象区域:権現堂川・吉田・八代・さかえ・さくら小学校区

・場所:天神島1030-1(ウェルス幸手内)

・受付時間:8:30～17:15 ※土日祝日・年末年始を除く

幸手西地域包括支援センター

☎ 40-3443 ☎ 44-0870

・対象区域:幸手・行幸・長倉・上高野小学校区

・場所:香日向4-5-1(旧香日向小学校)

・受付時間:9:00～17:45 ※土日祝日・年末年始を除く

☎認知症初期集中支援チーム:医療・介護の専門職が訪問し、必要な初期の支援を集中的に行い、自立生活に向けたサポートを行います。

幸せを手にする街へ

概要版

幸手市

認知症サポートガイド



簡単な認知症チェックです。
3つ以上当てはまった方は、このパンフレットで
相談先を確認してください。

1	同じことを言ったり聞いたりする
2	物の名前が出てこなくなった
3	置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
4	以前はあった関心や興味が失われた
5	だらしなくなった
6	日課をしなくなった
7	時間や場所の感覚が不確かになった
8	慣れた所で道に迷った
9	財布などを盗まれたという
10	ささいなことで怒りっぽくなった
11	蛇口・ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった
12	複雑なテレビドラマが理解できない
13	夜中に起きだして騒いだ

(国立長寿医療研究センター認知症チェックリストより)

令和7年4月改訂

幸手市介護福祉課

電話 0480-42-8438

FAX 0480-43-5600

認知機能の状態に応じた相談窓口等、一覧表

※認知症の症状や経過には個人差があります。

『認知症』とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために記憶力や理解・判断力の低下など、さまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態(6か月以上継続)です。

認知症の経過	軽度認知障害 認知症の疑い	軽度認知障害～初期 軽い症状があっても 日常生活は自立	初期 見守りがあれば 日常生活は自立	中期 日常生活に手助けや 介護が必要	後期 常に介護が必要
本人の様子・ 本人の気持ち	□「あれ」「それ」「あの人」などの言葉が増える。 □もの忘れの自覚がある。 □ヒントがあれば思い出せる。 	□同じことを何度も聞く。 □探し物が増える。 □意欲、自信が減退する。 □買物の支払いや事務処理でのミスが増える。 不安 	□手順の多い料理ができなくなる。 □時間や曜日だけでなく、季節や年次もあやふやになる。 □感情の起伏が激しくなる。 気持ちが沈む 	□季節にそぐわない服装。 □「ものを盗まれた」などの被害妄想が増える。 □家族の認識ができない。 □道に迷う。帰れない事がある。 うまく言葉にできない 	□飲食、排泄、入浴といった日々の行為が困難になる。 □寝たきりの生活が増える。 □言葉によるコミュニケーションが困難になる。 
相談窓口	○地域包括支援センター ○地域まるごと何でも相談窓口 ○介護福祉課				
医療	○かかりつけ医 ○かかりつけ歯科医 ○認知症相談医 ○認知症疾患医療センター ○もの忘れ相談医 ○訪問看護 ○訪問薬剤師 ○訪問診療 ○訪問歯科診療				
介護予防・ 悪化予防・ つながり支援	○脳の健康教室（介護福祉課）○あたまの健康チェック（介護福祉課） ○高齢者健康体操自主グループ（介護福祉課）○脳トレOB会（介護福祉課） ○老人クラブ（老人福祉センター）○ふれあい・いきいきサロン（社協） ○精神科デイケア（医療保険） ○介護保険サービス（介護福祉課、地域包括支援センター）				
安否確認・ 見守り	○安心カード配布（社協） ○配食サービス（民間、社協） ○高齢者・障害者地域見守り支援ネットワーク（介護福祉課） ○民生委員・児童委員（社会福祉課） ○緊急通報システム（介護福祉課） ○傾聴ボランティア（社協） ○ふれあい電話（社協） ○介護保険の徘徊感知機の貸し出し ○つながり安心ネットワーク（介護福祉課）				
生活支援	○配食サービス（民間、社協） ○介護保険サービス（介護福祉課、地域包括支援センター） ○桜ふれあいサービス（社協） ○シルバー人材センター ○幸せ手伝い隊（元氣スタンドぷリズム）				
身体介護	○介護保険サービス（介護福祉課、地域包括支援センター）				
家族支援	○おれんじカフェ ○紙おむつ支給（介護福祉課）				
住まい	○自宅 ○有料老人ホーム ○サービス付き高齢者向け住宅 ○ケアハウス（軽費老人ホーム） ○介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） ○認知症対応型グループホーム ○介護老人保健施設				
権利擁護	○あんしんサポートねっと ○成年後見制度（介護福祉課、地域包括支援センター） ○消費生活センター（くらし防災課）				

軽度認知障害とは？

認知機能が年齢相応より少し低下するが、認知症には至らず、基本的な日常生活には支障がない自立した状態。
軽度認知障害があっても、すべての人が認知症になるわけではありません。今の状態を知り、早めの予防に取り組むことが大切です。
※認知機能：記憶、判断、計算、理解、学習、思考、言語などの脳の機能。

「認知症サポーター養成講座」に参加してみませんか？

認知症のことを知って、認知症になっても安心して暮らせるまちになるよう、認知症について学びませんか。
講師（キャラバンメイト）による、1時間半程度の講座です。

対象：市内在住・在勤・在学のおおよそ10人以上のグループ
お問い合わせ：幸手市介護福祉課



認知症サポーターキャラバン

認知症を知りたい

話を聞いてほしい

「おれんじカフェ」

認知症の方やその家族でなく、地域住民や専門職など、だれでも気軽に参加でき、交流ができる集いの場です。
開催情報は幸手市ホームページ、もしくは介護福祉課まで。

認知症は早めの受診が大切だよ。
認知症と診断されても百人百様です。
本人の気持ちに寄り添い、
ひとひといにに応じた関わりを大切に。

～新しい認知症観～
高齢社会においては、誰もが認知症になる可能性があります。
「自分ごと」としてとらえ、認知症とともに希望を持って生きるという考え方と、地域の仲間としてともに暮らせるまちづくりを目指していきましょう。



幸手市マスコットキャラクター さっちゃん